

『真城中学校だより』

輝継



発行者

諫早市立真城中学校

校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 高等学校訪問を実施しました（2年生）

10日（火）に2年生の進路学習の一環として、「**高等学校訪問**」を実施しました。真城中学校は、近隣に多くの高等学校があり、進路を選択するという面で非常に恵まれています。そこで近隣の、**長崎日大高校**、**鎮西学院高校**、**創成館高校**の3校にお願いをして、高校の様子を見学したり、模擬授業を体験したりと、盛りだくさんの内容で学校訪問を実施することができました。校長先生自らの出迎えや、あいさつ、中には一緒に昼食をとっていただいたりしました。さらには、ウェルカムボードまで作っていただき、感激しました！

生徒たちも真剣な眼差しで体験活動を行い、3年生への進級を4月に控えた今、自分自身の進路への意識を高めることができました。本校の進路学習にご協力いただいた、3高等学校の先生方に、心から感謝したいと思います。

また、諫早地区は県の中央部という良好な立地条件もあり、県内の多くの中学生が、諫早市内の高等学校を希望しています。真城中校区は、高校への通学という面で非常に恵まれた環境にあります。自らの夢や目標をつかみ取るために、今回の体験学習で感じたことを胸に、毎日の学習や学校生活を充実させ、次のスrupに向けてしっかりと力を蓄えてほしいと思います。

これまでも、「**その日は必ず来る！**」という言葉を紹介しています。2年生の皆さんは、自分の進路を選択する大事な日まで約1年です。「**備えあれば憂いなし**」ということわざの通り、しっかりとした備えをしてほしいと思います。

高等学校訪問の生徒の感想は、次回、紹介したいと思います。



○ 授業の様子（1年生・家庭科）



3学期は、1年生の家庭科で調理実習を行いました。メニューは、**鮭のホイル焼き**と**みそ汁**です。写真は、1年1組の活動の様子です。どの班も協力しながら、そして楽しく調理実習を行うことができました。先日の新入生説明会でも話したのですが、1年生は、給食の準備が全校で一番早く、4校時終了から早いときは10分ほどで「いただきます」の声が聞こえてきます。当番の生徒たちが、よく協力して手際よく準備をする姿に感心します。そういった協力する姿が、今回の実習でも見る事ができました。

完成した鮭のホイル焼き（下写真）は本当に美味しそうで、生徒たちも笑顔で食べていました。また、鮭の切り身も大きくて、新鮮な食材を提供してくださった地元の業者の方にも感謝したいと思います。



卒業式まで1か月を切りましたが、1・2年生の確かな成長を感じ取ることで、真城中を次の世代にしっかりと受け継ぐ準備ができていることを、心から嬉しく思います。

また、3年生は、来週、公立高校の受検です。体調を崩すことなく、万全の態勢で臨んでほしいと思います。



○ 今日の給食（2月12日）



2月12日（木）の給食は、**親子丼、いわしのトマト煮、ブロッコリーのサラダ**、でした。

親子丼は、鶏肉たっぷり・卵もふわふわで、大量に調理しているとは思えないほどの美味しさでした。家庭や食堂での調理と違い、何百食分を一度に調理しながら、写真のような親子丼に仕上げるのは、並大抵の苦勞ではないと思います。また、いわしのトマト煮は、初めて食べるメニューでしたが、いわしとトマトの相性がピッタリで、イタリア料理の雰囲気が出ていました。魚が苦手な人でも食べやすかったのではないかと思います。

何気なく食べている毎日の給食ですが、たくさんの工夫や多くの人の努力が詰まっていることを、食べながら感じ取ることができます。給食週間は終わりましたが、給食への感謝の気持ちを持ち続けたいと思います。

